

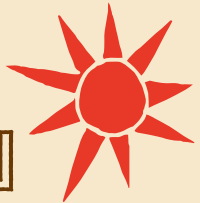


シンポジウム

"Local Energy Governance" in an Aging Society:
Toward Sustainable Community Using Renewable Energy



高齢化時代の『エネルギー自治』



再生可能エネルギーを活用したコミュニティの自立をめざして



2016年10月1日(土)
14:00~18:00 開場13:30

◎会場
京都大学
百周年時計台記念館 国際交流ホールⅢ

◎参加費
無料

◎定員
100名(先着順、当日参加も可能です)

◎申込
<https://goo.gl/forms/azed4s98vVXo7Ynol>

◎連絡先
京都大学大学院経済学研究科
再生可能エネルギー経済学講座 中山琢夫
nakayama@econ.kyoto-u.ac.jp

※本シンポジウムは、トヨタ財団2015年度国際助成
(フォーラム助成)のご支援により、実施されています。

プログラム

基調講演

- 「エネルギー自治」とは何か? その高齢化社会への貢献 / 中山琢夫(京都大学大学院経済学研究科・特定助教)
 CRE:Cominity Renewable Energyをどう評価するか? -東南アジアを中心に- / 石原慶一(京都大学大学院エネルギー科学研究科・教授)
 日本における地域付加価値創造分析の社会実装 / ラウパツハ・スミヤ ヨーク(立命館大学経営学部・教授)
 ベトナムにおけるCREの現状と課題 / ヤルナゾフ デイミター サボフ(京都大学大学院総合生存学館(思修館)・教授)
 竹内亮(京都大学大学院経済学研究科・博士後期課程)
 羽尾一樹(京都大学大学院総合生存学館(思修館)・博士後期課程)
 日韓再生可能エネルギー普及における課題と協力 / 李 秀澈(名城大学経済学部・教授)

パネルディスカッション

- 進行 中山琢夫氏(京都大学大学院経済学研究科・特定助教)
 ○パネリスト 石原慶一氏(京都大学大学院エネルギー科学研究科・教授)
 ラウパツハ・スミヤ ヨーク氏(立命館大学経営学部・教授)
 ヤルナゾフ デイミター サボフ氏(京都大学大学院総合生存学館(思修館)・教授)
 李秀澈氏(名城大学経済学部・教授)
 鈴木亨氏(北海道再生可能エネルギー推進機構・理事長)





シンポジウム

高齢化時代の『エネルギー自治』

再生可能エネルギーを活用したコミュニティの自立をめざして



13:30	開場	
14:00	開会	
第一部 講演会		
14:00-14:30	中山琢夫(京都大学大学院経済学研究科・特定助教)	「エネルギー自治」とは何か?その高齢化社会への貢献
14:30-15:00	石原慶一(京都大学大学院エネルギー科学研究科・教授)	CRE:Cominity Renewable Energy をどう評価するか? - 東南アジアを中心 -
15:00-15:30	ラウパッハ・スミヤ ヨーク(立命館大学経営学部・教授)	日本における地域付加価値創造分析の社会実装
15:30-15:45	休憩	
15:45-16:15	ヤルナゾフ ディミター サボフ(京都大学大学院総合生存学館(思修館)・教授) 竹内亮(京都大学大学院経済学研究科・博士後期課程) 羽尾一樹(京都大学大学院総合生存学館(思修館)・博士後期課程)	ベトナムにおける CRE の現状と課題
16:15-16:45	李秀澈(名城大学経済学部・教授)	日韓再生可能エネルギー普及における課題と協力
16:50-17:00	休憩	
第二部 パネルディスカッション		
17:00-17:20	話題提供 / 鈴木亨(北海道再生可能エネルギー振興機構・理事長)	市民風車の最近の動向
17:20-18:00	パネリスト / 石原慶一氏、ラウパッハ・スミヤ ヨーク氏、ヤルナゾフ ディミター サボフ氏、李秀澈氏、鈴木亨氏 進行 / 中山琢夫氏	
18:00	閉会	

シンポジウム終了後、学内におきまして、意見交換会を開催いたします。

○ 登壇者プロフィール(登壇順)

中山琢夫氏 (京都大学大学院経済学研究科再生可能エネルギー経済学講座・特定助教)
博士(政策科学)。専門は環境経済、地域経済、再生可能エネルギー。かつて、日本の山間地域を象徴する高知県仁淀川町において、JST 研究員として 2 年半の参与観察を経験した。

石原慶一氏 (京都大学エネルギー科学研究科・教授)
京都大学大学院工学研究科博士課程修了。将来のエネルギーについて、基盤技術から実現可能なシナリオまでを研究対象に、基礎技術を社会に活かして豊かな社会を構築すべく、様々な人材育成・社会活動を行っている。

ヤルナゾフ ディミター サボフ氏 (京都大学大学院総合生存学館(思修館)・教授)
学術博士。専門は、比較政治経済学、制度派経済学。現在、新興国および発展途上国における「グリーン転換」(グリーン・エコノミーへの転換)に関する比較研究を行っている。

ラウパッハ・スミヤ ヨーク氏(立命館大学経営学部・教授)
ドイツ Duisburg-Essen 大学大学院経営経済学研究科博士課程修了。経営経済学博士。現在は、再生可能エネルギーと地域産業に関する研究を行っている。

李秀澈氏 (名城大学経済学部・教授)
京都大学大学院経済学研究科博士課程修了。経済学博士。最近では、日中韓台を中心とした東アジアの環境・エネルギー共同体構想にむけた、関連制度設計・政策協調問題に関する研究を進めている。

鈴木亨氏 (北海道再生可能エネルギー推進機構・理事長)
1957年、北海道美唄市生まれ。生活クラブ生活協同組合北海道職員を経て、1999年、NPO法人北海道グリーンファンドを設立。日本初の市民出資による風力発電事業に取り組む。北海道再生可能エネルギー振興機構理事長を兼務。

○ 概要

日時 2016年10月1日(土)14:00-18:00
 会場 京都大学 百周年時計台記念館 国際交流ホールIII
<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/clocktower>
 参加費 無料
 定員 100名(先着順、当日参加も可能です)
 申込 <https://goo.gl/forms/azed4s98vVXo7Yno1>
 連絡先 京都大学大学院経済学研究科
 再生可能エネルギー経済学講座 中山琢夫
nakayama@econ.kyoto-u.ac.jp

